

ガラス物性測定コンソーシアム令和5年度専門講習会ならびに見学会報告

開催日 2024年2月26日(月)
開催場所 京都大学桂キャンパス 京都大学ローム記念館1階大会議室(ハイブリッド開催)
<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/facilities/campus/rohml8-map>
講習会 13:15～ 開会のあいさつ
13:20～15:00 専門講習会
「無容器法による新規機能性ガラスの開発と物性計測」
講師 増野 敦信 教授
京都大学大学院工学研究科材料化学専攻 ガラス基礎科学講座
参加者 会員10名(内1名オンライン)、事務局2名(内1名オンライン)

今年度の最後の専門講習会を2月26日月曜日に京都大学桂キャンパスにおいて開催した。専門講習会後に研究室見学会を予定しており、5機関からと事務局を合わせて11名の出席があった。代表からの挨拶の後、2023年4月に発足した京都大学大学院工学研究科ガラス基礎科学講座の増野敦信先生に「無容器法による新規機能性ガラスの開発と物性計測」の講演をいただいた。先生の無容器溶融法による新規組成ガラス、高屈折率ガラスなどの今までの御研究の講演をいただいた。量子ビーム計測や計算科学、情報科学を用いた先進的ガラス構造解析から、機能発現のメカニズムを原子、電子レベルでのご説明いただき、ガラス組成開発ならびに評価分析・解析方法など多くの解説が行われた。

講演後は先生の研究室見学を行った。無容器溶融法の設備では実際に炭酸ガスレーザーによるガラス溶融の実演が行われ、参加会員は興味深く観察され多くの質疑が交わされた。弾性率測定や硬度計、微小サンプルの密度測定装置など最新の設備についても測定の実演を交えて機器の紹介をいただき、非常に興味深く見学させていただいた。

見学会後には、有志による懇親会も行われ、そこではさらなる研究内容や研究現場の状況についても深く議論が交わされた。